

会議名	第3回（仮称）文化芸術ホール整備に向けた気運醸成事業支援業務委託 事業候補者選考委員会
開催日時	令和4年4月22日（金曜日）午前9時から11時まで
開催場所	港区役所9階 911会議室
委員	（出席者） 産業・地域振興支援部長 山本 睦美（委員長） 国際化・文化芸術担当課長 矢ノ目 真展（副委員長） 文化芸術ホール参与 片山 泰輔 障害者福祉課長 小笹 美由紀 子ども家庭課長 白井 隆司
事務局	産業・地域振興支援部地域振興課文化芸術ホール整備担当
傍聴者	非公開のためなし
会議次第	1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 4 第二次審査結果及び事業候補者の決定について 5 閉会
配付資料	[席上配付] ・次 第 ・資料1 (仮称)文化芸術ホール整備に向けた気運醸成事業支援業務委託 第二次審査実施概要 ・資料2 (仮称)文化芸術ホール整備に向けた気運醸成事業支援業務委託 第二次審査採点表 ・資料3 (仮称)文化芸術ホール整備に向けた気運醸成事業支援業務委託 第一次審査・第二次審査集計結果(※集計終了後、机上配布) ・資料4 (仮称)文化芸術ホール整備に向けた気運醸成事業支援業務委託 第2回選考委員会会議議事録 ・参考 (仮称)文化芸術ホール整備に向けた気運醸成事業支援業務委託 第一次審査集計結果
会議の結果及び主要な発言	
委員長	1 開会 令和4年度（仮称）文化芸術ホール整備に向けた気運醸成事業支援業務委託 第3回事業候補者選考委員会を開会する。 本日は、事業候補者からのプレゼンテーションを受け、第二次審査の評価を 行い、最終的な事業候補者を決定する。
委員長	2 第二次審査実施概要について 事務局より説明をお願いしたい。

事務局	資料1～3について説明。
委員長	事務局説明で何か質問等はあるか。
	(委員一同、異議なし)
委員長	3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施について 1 事業者のみの実施となり、ヒアリング終了まで、事務局が進行を行う。
	A事業者(説明10分) ～提案内容の説明～
事務局	提案内容について、各委員から質問等はあるか。
A委員	事業実施にあたり区民への広い周知を図るとあるが、想定されている具体的な手法はどのようなものか。
事業者	仕様書に記載で求められている媒体のみならず特設サイトを開設する。 より幅広い世代に届けていくことを重視し、紙媒体ではなく、SNS等の活用による周知活動に力をいれていきたい。
A委員	可能であれば、委託期間終了後も、引き続きコンテンツが残るように工夫していただきたい。
事業者	了承した。
B委員	①アソシエトリサーチャーの募集について、具体的な募集方法等について ②国際性豊かな港区であるからこそその共生社会の課題について 以上2点について、今までの知見をふまえた上で、説明いただきたい。
事業者	①アソシエトリサーチャーについては、今回限りではなく、今後も継続して区の文化事業に関わる人材の募集とする。様々な区のネットワークを活用しつつ、主に大学院生を対象とし、文化政策専門の学科に個別に打診を行う。 また、アート業界のネットワークを活用し、アーティストへも打診を行うことにより、様々な視点から課題の顕在化を行う。 ②日本語以外を母語とする人に、積極的に参加してもらうことで、言語のバリアフリー化を行い、大使館等へ働きかけを行う。
C委員	身体的、言語的なバリアフリー化に取り組む際に、どのようなアクセシビリティを想定しているか。
事業者	周知活動を行う際に必要な情報を必要とする方へ周知できることを重要視している。事業当日のバリアフリーの取り組みを、事前に幅広く周知することで、誰もが参加できるものとする。
D委員	区内の関係団体との関係構築についての考えを、今までの実績をふまえた上で、ご説明いただきたい。
事業者	区の文化事業に関わってきたことにより、様々な関係団体とのネットワークが構築できた。中でも各々の個人企業のビジネスセンスを、文化事業に活かしたい。アートの独自性を生かして、新しいビジネスや社会的なイノベーションに繋げ、地域の活力に波及させていきたい。
E委員	共生社会の実現をテーマに掲げているが、区内に多数ある福祉団体との関係

	構築について、ご説明いただきたい。
事業者	今、ネットワークは持ちあわせてないが、今後、区と相談をし、積極的に密な関係性を構築したい。
E委員	「ケアを他者に一方的にアウトソースするのではなく、相互にケアしあう行政社会」の、具体的な内容についてご説明いただきたい。
事業者	ケアが 21 世紀の社会思想において非常に重要なテーマであることは、コロナ禍において、より鮮明なものとなった。ケアとは、強者が弱者に一方的に与えるものではなく、相互に与えあうことであり、民主主義の基盤にもなりうる事を前提として、共生社会と創造性というテーマの下、言語化していきたい。
事務局	他にご意見・ご質問等あるか。
	(委員一同、異議なし)
	(事業者、退室)
	(委員一同、採点) (事務局集計後、集計結果について各委員の机上へ配布)
委員長	4 第二次審査結果及び事業候補者の決定について 採点の講評について、各委員からご説明いただきたい。
A委員	アートに寄りすぎない国際的な視点を持ち合わせており、区の特徴を良くとらえていた。しかし、事業者の考えるレベルが非常に高く、区との協調性については懸念した。
B委員	事業実績も豊富であることから、決定されるアソシエートリサーチャーについては、(仮称)文化芸術ホール開館に向けて大きな力になる。しかし、マンパワー的に懸念を抱いており、複数年の取り組みで調整していくことについても、検討すべきである。
C委員	全体的に、事業趣旨について、大変よく理解されている。福祉分野の取り組みについては、未知数であるものの、全体的に期待値としては大きい。
D委員	全体を通して、理念についてはよく理解できたものの、区民への周知、関係団体との関係構築について、具体的な手法は見えてこなかった。 しっかりとした考えを持っていることはよく理解できたが、実践においては、区が一定割合支えていく必要性を感じた。
E委員	港区文化芸術プランや(仮称)文化芸術ホールの取り組みについてよく理解された上での提案内容であった。また、事業実績に則しており、実現性についても非常に高い。福祉分野との連携については、未知数であるものの、今後区と連携して行うことにより誠実な業務遂行が期待できる。
委員長	意見交換を踏まえ、自身の採点について、修正等あるか。
	(委員一同、修正なし)
委員長	それでは、資料3第一次審査・第二次審査集計結果について、事務局より説明をお願いしたい。
事務局	第二次審査結果は、394点である。

	満点 500 点の 60%の最低ラインをクリアしており、第一次審査との合計は、1114 点である。
委員長	事務局説明で何か質問等はあるか。
	(委員一同、異議なし)
委員長	審査結果を踏まえ、A 事業者を事業候補者として決定してよいか。
	(委員一同、異議なし)
委員長	事務局より、事業者名の発表をお願いしたい。
事務局	事業者名について発表。
委員長	5 閉会 事務局より連絡事項をご説明いただきたい。
事務局	資料 4 について、訂正等あれば、事務局まで連絡をお願いする。 配布資料については、全て机の上に置いての退室をお願いする。
委員長	事務局の説明について何か質問等はあるか。
	(委員一同、異議なし)
委員長	予定した議題は終了した。以上で第 3 回事業候補者選考委員会を終了する。